

ひまわり

Vol.136

編集 中村建設(株)
四時市古管1-1-7
隔月発行

お variability なく
お 通 り ば なく
し ば なく
う ぐ ぐ
か ?

里の秋

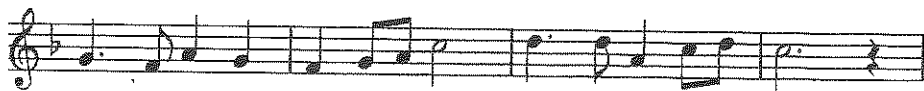
作詞：斎藤信夫
作曲：海沼実



し ず かな し ず かな さ と の あ き



お せ ど に き の み の お ち る よ は



あ あ が あ さ ん と た だ ふ た り



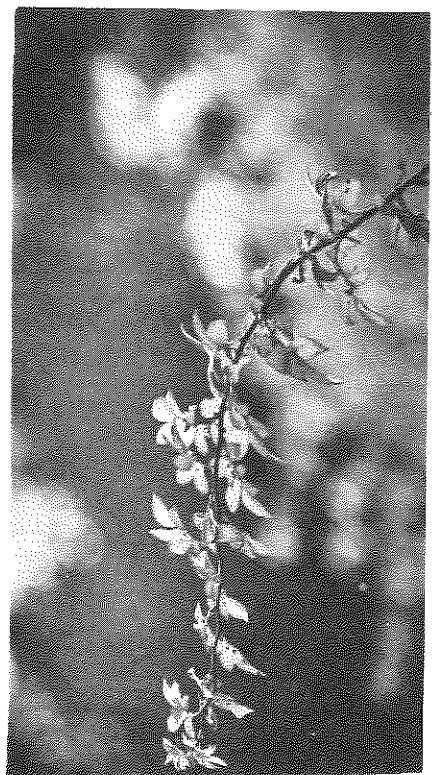
く り の み に て ま す い ろ り ば た

静かな静かな 里の秋
お背戸に木の実の 落ちる夜は
ああ 母さんとただ二人
栗の実 煮てます いろいろばた

明るい明るい 星の空
鳴き鳴き夜鴨の 渡る夜は
ああ 父さんのあの笑顔
栗の実 食べては 思い出す

さよならさよなら 椰子の島
お舟にゆられて 帰られる
ああ 父さんよ御無事でと
今夜も 母さんと 祈ります

南の島から復員してくる父をまちわびる母と子の静かな里の秋の情景です。戦時中、「星の夜」の題で発表されたこの歌は、昭和20年に無事な復員を祈る歌に改作され、作詞者に全国の留守家族から感謝の手紙が殺到したといわれています。



社長のひとり言

令和2年10月18日記

「オイスカ」って何？

私には25年以上続けて来たボランティア活動があります。それは中野与え助と云う人が1961年に設立したオイスカと云う団体で、農業を通じた人づくり・国づくりと目指したアジア・太平洋地域34ヶ国で「農業開発」「人材育成」「環境保全」「普及啓発」を行っている国際NGOの組織です。日本では政治家・企業家・何人が参加しています。具体的には日本国内にある4つの研修センターに各国の若者に声掛け農業・畜産・工業技能実習を行っています。

又、海外にも14所の研修センターがあり、現地の青年がそこで暮らしていて、その若者達は地域のリーダーとして活躍しています。

この様な活動を始めたのは、戦後間もない時、各国で独立運動が起りましたが、国の安定を計るには、国民に充分な食料を必要とします。ただ他国の食料援助にだけ頼るのではなく、自国で食料の自給を高め、国力を上げることが大切であるとの考えで、中野与え助氏は環境にも配慮した日本の有機農業を現地の人に教える事と、思ひ立ちます。この事は延びては日本の文化お陰様の精神を相手に伝える事にもなり、良き人間関係が生まれ人々との繋がりも深くなり世界

平和に繋がるのでは……。私も縁があつて、この団体との関わりを持ち、各国にボランティアとして

出向きました。その中で働く日本人達は、アフリカ・アジアで亡くなった中村折江医師の様に見返りを求めない人達によって、運言されていきます。純粹に相手の国の困っている事を手助けすることが、真の世界平和になるよう思っています。又、オイスカは、国連ではユネスコと同等のNGOとして扱われています。残念ながら、私の日本の方には知られていない団体です。少しでも多くの方に存在を知って欲しいとの思いで記事にしました。

右記にご興味のおありの方は
ご一報下さい。

雑談コーナー

十一月 霜月しもフネ

朝霜が降りる 霜降月フシモが

略されて霜月になった。

他に霜見月フシミ 雪待月ユキマツキ

雪見月ユキミ 又神無月カミナリ (十月)

に集まった(去雲大社に)神様

たちが元の場所に戻るのだ

神帰月カミキリ とも云われる。

今年の暖冬かしら(?)

11/7 立冬

立冬から立春の前日までが

暦の上での冬です。

日中はまだまだ冬と云うより

穏やかな秋と云った感じの口々

ですが、日が出ていない時間帯は

大部、冷え込むようになります。

この頃より赤いくなるのがあつ

たか、お風呂です。湯船に

つかうといと、一日が終わるにえ

たりな一人も多くんじないてし

うか(?)

この浴槽にお湯をほって入り

出したのは、江戸時代頃より

と云うから驚きです。

さて、ここで色々なお風呂の楽しみ方と
ご紹介致します。

「ミルク風呂」浴槽に0.5〜1Lの牛乳を

入れる。美肌効果や安眠の

効果があります。

「木のこぎ汁風呂」米のこぎ始めに出る濃い

とぎ汁を浴槽に入れる。

お肌ツルツル美肌効果あり。

「日本酒風呂」日本酒50〜100cc浴槽に入れる。

保湿効果・美肌効果。

冷え性予防に。

「炭酸風呂」浴槽クエン酸大さじ1、重曹

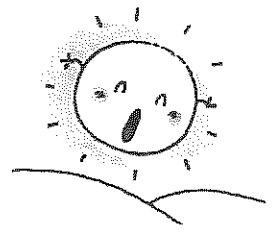
大さじ2を入れる。炭酸ガスが

ある。血行促進・体臭予防

入れる。乾燥肌や湿冷の改善

他にも色々な風呂があります。

ご縁があったときが 幸せ家庭づくりのチャンスです



幸せをもたらす住まいづくりの勉強会

(三重)ホームー四日市教室

TEL:059(345)7726

NPO法人幸せな家庭環境をつくる会三重支部

〒510-0958 三重県四日市市小古曾1-1-7

「日の入る家は医者いらず」
昔の人たちは太陽光線を
効果的に利用してきました。

太陽光線の利用の仕方によって、
家族の健康は左右されます。

間取り計画や、窓の大きさ、つけ方は、
各部屋の利用目的と、太陽光線との関係を
十分に考えなくてはなりません。

紫外線・赤外線・可視光線は、まさに自然の恵みですが、
メリット・デメリットをもちます。
特性を理解し、上手に利用することが大切です。



今年には新型ウイルスが全世界を席巻し、未だ収束を
みせておりません。しかし、長い歴史を振り返ると、日本

は、実に多くの危機を国民が
一致協力することで、賢く乗り
切って乗り越えた。この危機を転
じて未来を切り開いて行かねば！

家族と住まいと環境の勉強会

ホームー四日市教室 開催しています

